

樋の口浄水場等建設事業 進捗状況等について



弘前市上下水道部工務課

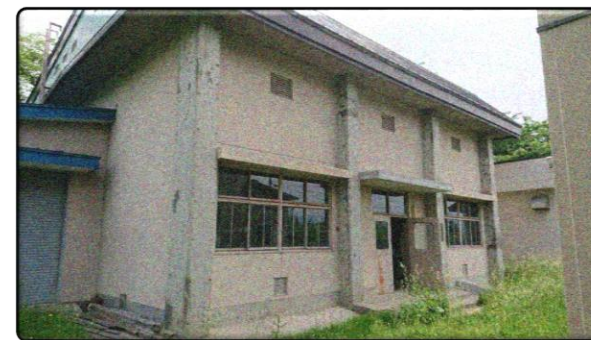
事業概要



樋の口浄水場
(昭和35・45年整備)



岩木川取水ポンプ場
(昭和52年整備)



常盤坂増圧ポンプ場
(昭和46年整備)

- ①上記の基幹施設は、老朽化が著しく、耐震性を有していないことから対策が急務となっている。
- ②人口減少や節水型機器の普及により、水需要量は減少傾向を示している。



長期的な視点からコスト縮減と安定的な運転を図る必要がある。

DBO方式により、施設の更新を行うこととしました。

進捗状況

	年 月 日	内 容
済	令和元年 7月 5日	募集の開始（募集要項等の公表）
済	令和2年 1月 28日	最優秀提案者の選定
済	令和2年 2月 3日	優先交渉権者の決定
済	令和2年 2月 12日	基本協定の締結
済	令和2年 2月 21日	基本契約の締結
済	令和2年 3月 25日	設計及び建設工事請負契約 締結 運転管理業務委託契約 締結
現在 →	令和2年 4月 1日～令和 3年 10月	設計業務
	令和3年 11月 ～ 令和 8年 3月	建設工事
	令和8年 4月 ～ 令和23年 3月	運転管理業務（15年間）

契約内容について

- 契約者（8社）

- 代表企業：(株)クボタ東北支社

- ◆ 構成員：東芝インフラシステムズ(株)東北支社
佐藤工業(株)東北支店
(株)N J S 青森出張所
(株)東京設計事務所青森事務所
(株)弘新建設
弘南建設(株)
クボタ環境サービス(株)東北支店

【機械企業】

【電気企業・運転管理企業】

【土木企業・建築企業】

【設計企業】

【設計企業】

【市内・土木企業】

【市内・建築企業】

【運転管理企業】

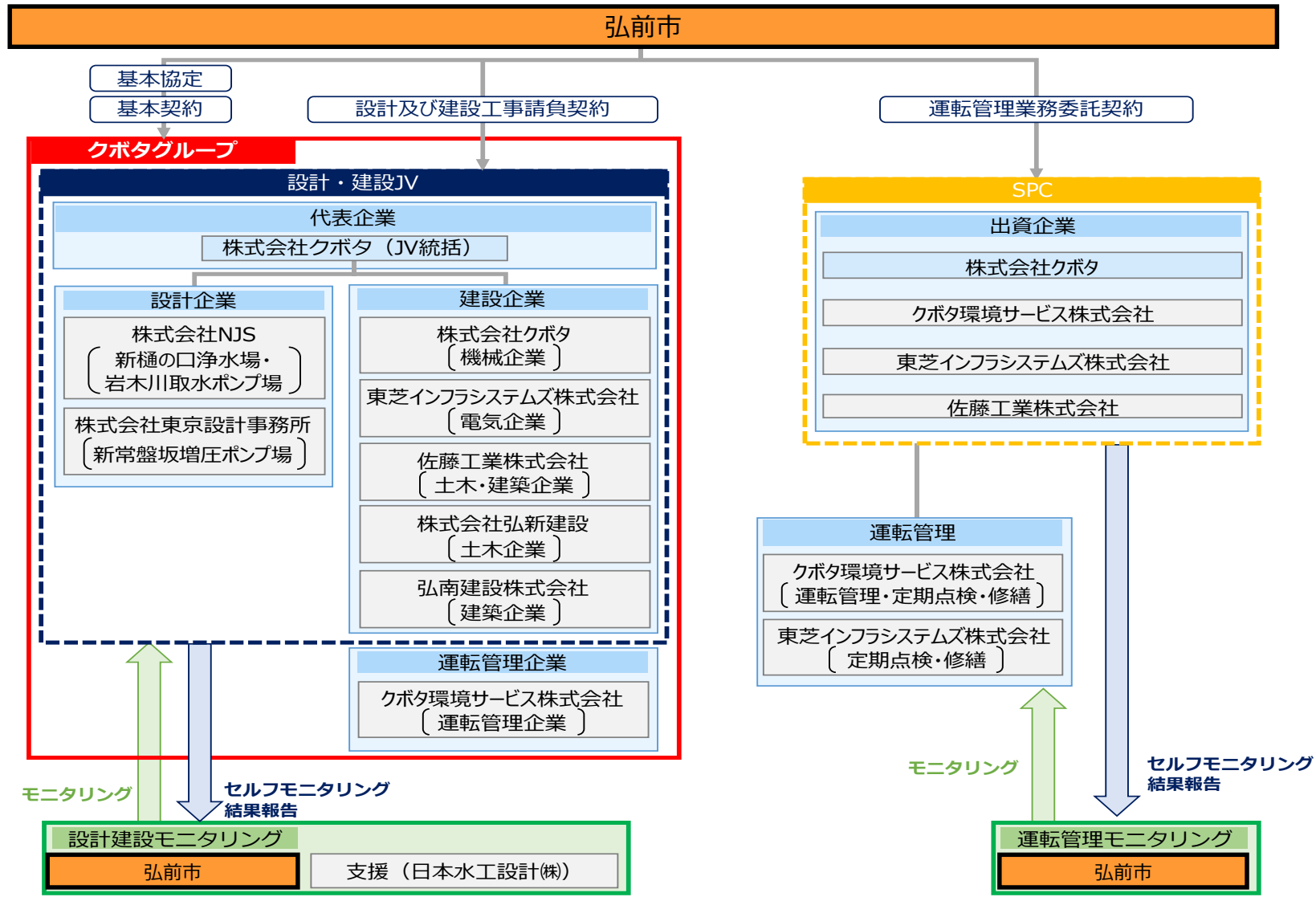
契約内容について

- 契約金額

単位：円（税込）

	事業費限度額	契約額	差額
設計及び建設工事	11,776,534,000	11,770,000,000	- 6,534,000
運転管理業務	4,200,009,000	4,199,800,000	- 209,000
合計	15,976,543,000	15,969,800,000	- 6,743,000

組織体系



事業コンセプト

環境との調和で、 創り、つなぐ、未来の弘前

環境との調和をはかり、
市民のみなさまが満足する水道施設を創り、
未来の弘前につなげます。



新樋の口浄水場完成予想図



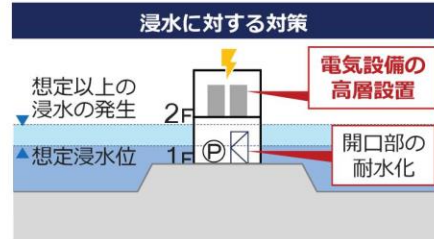
新常盤坂増圧ポンプ場完成予想図



技術提案の概要（災害対策・地域住民、地域社会への配慮について一部抜粋）

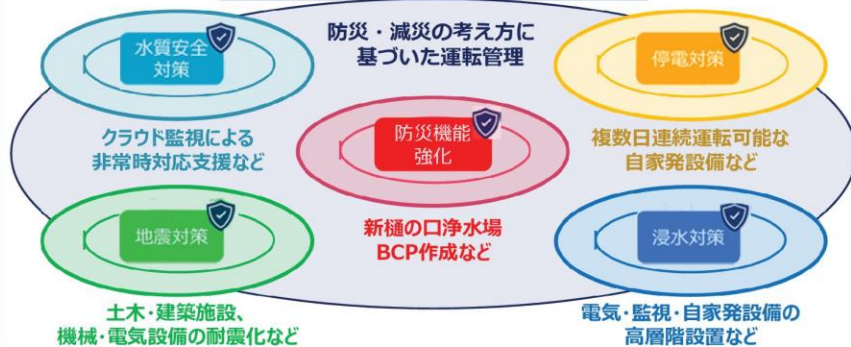
想定外の災害に備える防災・減災対策

①新樋の口浄水場は、岩木川の氾濫時に備え、構造物に「浸水対策」を実施します。



②浸水対策以外にも、「水質安全対策」「地震対策」「停電対策」「防災機能の強化」において、「弘前市地域防災計画」で想定される地震や豪雨災害等の対策に加え、想定を超える事象に備えた防災・減災対策を実施します。

想定外の事象に備えた防災・減災対策



応急給水拠点としての機能

- ①応急給水活動拠点である新樋の口浄水場と新常盤増圧ポンプ場において実施する災害対策や応急給水方法について、見学会などで市民に広くお知らせします。
- ②災害対策として、浄水場における浸水対策や給水機能について、見学会などで市民に広くお知らせします。
- ③応急給水方法として、新樋の口浄水場では、応急給水口から応急給水車への給水を可能とします。新常盤増圧ポンプ場では、応急給水場所において仮設給水栓から、市民にも給水が可能です。



新樋の口浄水場における応急給水方法



新常盤増圧ポンプ場における応急給水方法

展示内容とイメージアップに対する配慮

- ①管理棟1階ホールに弘前市水道事業の歴史や、水道水を飲んでいただくためのPRポスターを掲示します。
- ③見学ルートに説明用パネルを設置し、岩木川の水がきれいになっていく過程を体感していただきます。



- ⑤4ヶ所の渡り廊下に弘前の四季を表すパネルを設置します。



- ②管理棟2階の中央監視室や水質計器室で、水道水が厳格に管理されていることを見学していただきます。
- ④管理棟3階に岩木山を眺望できるビューポイントを設置します。



- ⑥水道週間にあわせて浄水処理や、ろ過処理の模擬実験等の体験型イベントを開催します。



見学者の安全対策

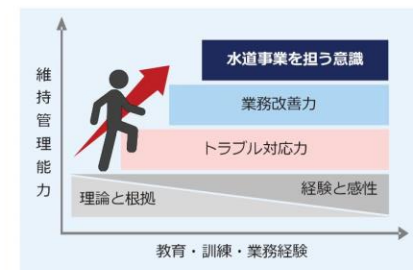
- ①見学ルート以外は立入禁止の掲示板を設置し、施錠を行います。
- ②普通救命講習を受講した従業員を配置し、AEDや救急箱を持って見学者を案内します。
- ③災害を想定した見学者の誘導訓練を定期的実施します。

バリアフリーへの配慮

- ①車椅子による見学者対応として、車椅子用の駐車スペースやエレベータ、階段昇降機を設置します。
- ②高齢者への配慮として、展示パネルの文字は見やすく、大きく作成します。

地域を守る技術者の育成

- ①弘前市居住者の雇用を積極的に行い、弘前に根ざした人材を配置し、地域へ技術を継承していきます。
- ②運転監視に必要な「技術力」と、安定的な水道事業運営に必要な「管理力」の、2つを兼ね備えた、弘前市水道事業を担う技術者を育成します。



事業の実施体制とスケジュール（予定）

